

## 臺中市政府公務出國或赴大陸地區報告提要

類別：其他

出國報告提要名稱：臺中—大分開航儀式及日本大分交流	
含附件： <input checked="" type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否	
出國計畫主辦機關：臺中市政府觀光旅遊局	
聯絡人：李依陵 電話：04-22289111轉58008	
出國人員姓名/服務機關/單位/職稱	
郭坤明/台中市政府/府本部/副秘書長	
出國類別： <input type="checkbox"/> 其他 <input type="checkbox"/> 國際會議 <input type="checkbox"/> 業務接洽 <input type="checkbox"/> 洽展 <input type="checkbox"/> 表演 <input type="checkbox"/> 比賽 <input type="checkbox"/> 擔任裁判 <input type="checkbox"/> 海外檢測 <input checked="" type="checkbox"/> 其他： <u>開航交流</u>	
出國期間：105年9月15日 至105年9月18日	出國地區：日本
報告日期：105年10月20日(填寫一級機關首長核定日)	
內容：	
一、目的	
<p>臺中市和大分縣從2015年11月簽定觀光友好交流合作協定書後，以溫泉和自行車兩主題積極交流；並於2016年9月8日，大分縣廣瀨知事率團遠從大分到臺中，和本市正式簽屬友好交流備忘錄，落實友好交流備忘錄內容，鼓勵官產業界各團體互訪交流。2016年9月15日是華信航空從臺中直飛大分定期包機首航，往後每週四、日兩航班，有助於兩地人民互訪交流，落實和深化友好交流備忘錄的內容。此次行程除了主持直航儀式並推廣其便利性外，亦拜訪及瞭解大分縣政府推展觀光產業的營運模式，透過與其建立合作互惠的方式，共同推動城市觀光交流，能將臺中推向國際。</p>	
二、過程	
9月15日(四)	9月16日(五)
08:15 首航儀式 09:50 台中機場起飛華信航空 7354 班機 13:15 抵達大分機場 13:45 首航迎接儀式(大分縣副知事) 15:30 參訪大分縣立美術館 16:00 抵達大分縣政府，拜訪廣瀨知事 18:30 意見交換會	09:00 由布院觀光推進會導覽 12:00 大分縣旅遊協會、振興協議會導覽 15:00 地熱溫室栽培作物 17:00 研討大分縣肉品屠宰及防疫事宜
9月17日(六)	9月18日(日)
09:00 海灣自行車道及高崎山保護區 12:00 山間自行車道及久住高原牧場 14:00 八丁原地熱發電所地區 16:00 長者原濕原及登山步道口健行	09:00 豆田町釀酒、醬油觀光工廠 11:00 日田觀光協進會 19:00 抵福岡機場 21:00 福岡機場起飛華航-CI117 班機 22:10 抵台北桃園機場

### 三、心得

台中市政府與華信航空共同開闢台中-日本大分定期航班，2016年9月15日代表台中市政府搭乘華信航空首航班機-花現臺中彩繪機，9點50分從台中起飛，13點15分抵達大分空港(時差2小時)，兩個小時的時間便可連結大分縣與台中市清泉崗，令人深深感受到兩地直航的便利性，而且省去福岡、桃園大型機場的不便，希望此定時直航航班能藉此展開全面性的交流，並盡速促成固定直航航線的建立。

大分縣位於日本九州東北部，多為山地，其自然資源豐富，氣候整體屬於溫暖，人口並不密集。但台中市與大分縣有許多相似之處，例如農產水果、溫泉及自行車文化等。大分縣広瀬知事是前通產省次臣，在當地連任知事已經四屆，並且擔任九州地區縣市聯合治理聯盟的主席。在他的推動下，日本之汽車關聯產業陸續進駐該縣投資，已經形成產業聚落。而帶動我國光學產業聚落的佳能(Canon)在台中市潭子等地設廠超過30年，其社長及產業的發源地正是在大分。広瀬知事特別提到與本市簽署交流備忘錄時，曾前往台中歌劇院、草悟道等地看到許多年輕人，感覺台中市是一個很有活力的城市。

而太田豐彥副知事過去的工作經歷則來自農產省，他負責擬訂計畫來推展大分豐後牛肉、柑橙、梨等農特產品。香菇也是大分名產，香菇上層有星形記號，屬於日本乾香菇的重要產地。九重高原地區擁有一望無際的牧場景觀，每年固定的時節也會燒耕，形成獨特的高原景觀。而為了防疫，已不再以放牧的方式改以圈養。該地區也可以遠眺阿蘇火山，到處都有獨立的小型溫泉區。在具體規畫及宣傳上都強調整合農業及餐飲旅遊，以相互帶動產值的提升，並且導入具有地區特色的竹編細工、小鹿田燒陶藝一併推動。

大分縣的觀光發展則是藉由溫泉旅遊來帶動。該縣的溫泉數量及湧泉量是日本第一名，擁有日本第一溫泉縣的美稱。位於大分縣中央的由布院溫泉在日本有相當高的知名度，其泉湧量位居日本第三，由布院觀光街道及溫泉旅館一帶擁有田園風光，悠閒慢活的氛圍成為世外桃源。火車站附近有很多溫泉旅館和各種禮品店，街道交通工具具有骨董巴士、馬車及人力車等，秋季的紅葉也成為當地觀光亮點。由布院溫泉旅遊價值極高，值得本市與日方交流學習，而且由布院溫泉是台中市溫泉的姊妹湯，本府現今已經陸續促成本市溫泉觀光協會與大分由布院溫泉旅館協會簽訂姊妹湯、台中市旅館商業同業公會與日本大分縣別府市觀光協會簽署「溫泉觀光友好交流合作協定」，期待業者間能交流學習。

日田市的豆田町保留體驗日本懷舊街道的特色，充滿江戶時代氣息的觀光街道，現今當地仍保有許多歷史建築、百年老店，沒有過多的現代商業氣息，使豆田町擁有不同的氛圍。日田觀光協進會推薦隱匿在街道中的小型清酒釀造工廠，其經營方向以觀光工廠為主，保留許多古代釀酒之器具及相關產業歷史，廠區內提供展覽等觀光服務。而另一家醬油及咖哩觀光工廠則蒐藏許多日本女兒節擺飾，各具特點。

#### 四、建議

- (一) 藉由華信航空開航提供直航便利性及此次參訪，本市與大分縣共同推動雙方城市觀光旅遊，鼓勵雙方旅行業者與民間交流與互訪。資源共享、創造客源與合作互惠原則，共同推動城市觀光及溫泉觀光交流，擬定交流計畫，並建立溝通窗口，鼓勵旅行業者交流即時共同商討合作措施，進行合作提案。
- (二) 積極參與二地旅遊主題活動，並鼓勵民間交流與互訪。如以自行車為主題積極展開交流。雙方展開交談，讓本市著名的后豐東豐鐵馬道與大分的耶馬溪自行車道締結姊妹自行車道，也邀請九州的自行車騎士來參與台灣自行車節活動。本市是世界自行車產業的重鎮，也期待能在觀光交流以外，在產業營運上能夠有開拓市場的機會。
- (三) 2018台中世界花卉博覽會、2019東亞青年奧運，希望吸引更多日本九州地區民眾，藉由大分的定期航班前來台中。雙方共享觀光宣傳管道並合作宣傳旅遊資訊，發佈於雙方觀光旅遊刊物及網站。希望未來雙方的具體交流，可以擴及到產業、農業及教育等方面。

#### 五、附件

##### (一)國內外相關新聞報導



圖 7 大分合同新聞 (2016.09.16)

資料來源：http://www.oita-press.co.jp/101000000/2016/09/16/JD0054923398



圖 8 中央通訊社について (2016.09.15)

資料來源：http://mjournal.cna.com.tw/news/atra/201609150006.aspx

# 12月まで大分と台湾・台中を結ぶ

## 定期チャーター便就航

### 外国人客回復に期待




大分空港と台湾・台中市を結ぶ定期チャーター便が15日に就航した。台湾のマンダリン航空が15日午後5時55分に、大分空港から台中空港へ向けて、定期チャーター便の第1便が飛出した。乗客は約140人。大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。

大分県観光課によると、この便は、大分県観光課とマンダリン航空が共同で企画した。大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。また、大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。

大分県観光課によると、この便は、大分県観光課とマンダリン航空が共同で企画した。大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。また、大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。

図9 大分合同新聞朝刊 (2016.09.16)

# 「台湾客」増に期待

## 大分・台中定期チャーター便就航



大分県観光課によると、この便は、大分県観光課とマンダリン航空が共同で企画した。大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。また、大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。

大分県観光課によると、この便は、大分県観光課とマンダリン航空が共同で企画した。大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。また、大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。

大分県観光課によると、この便は、大分県観光課とマンダリン航空が共同で企画した。大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。また、大分県観光課は「外国人客の回復に期待している」と話している。

図10 西日本新聞朝刊(2016.09.16)

2016/9/15 NHK NEWS WEB

台湾結ぶチャーター便就航



大分と台湾の台中を結ぶチャーター便が15日に就航し、第1便が到着した大分空港では記念のセレモニーが行われました。台中は台湾の第3の都市で、15日から台中空港と大分空港を結ぶ定期チャーター便が、12月25日までの間、運航します。15日は午後1時ごろにおよそ140人を乗せた第1便が大分空港に到着しました。到着ロビーでは太田豊彦副知事が台湾のことで「日本の温泉県おいたへようこそ」と書かれた横断幕を掲げて乗客を出迎えました。太田副知事は「台湾の皆さんには熊本地震のあとでも多く観光に来て頂きました。世界が一番応援して頂いたと感じております」とあいさつしました。これに対し、定期チャーター便を運航する「マンダリン航空」の韓梁中社長が「今回の就航は台中の人たちが大分を愛していることの証です。これを機に大分と台湾中部の交流を一層進めていきたいです」と応じていました。大分県は大分空港と台湾の定期チャーター便について3か月間余りの運航でおよそ5000人の利用を目指しているということで、定期便の誘致に向けて実績を積み上げたいとしています。台湾の女性は「日本に訪れるのは初めてですが、食べ物や文化などすべてが楽しみです」と話していました。

09月15日 19時20分

図11 NHK NEWS WEB (2016.09.15)

2016/9/16 OBS 大分放送ニュース

台湾定期チャーター便が就航(9/15(木) 19:01)



大分空港と台湾の台中市を結ぶ定期チャーター便の運航が15日から始まり、県内の観光関係者が台湾人旅行者の来県を歓迎しました。定期チャーター便を運航するのは台湾のマンダリン航空です。15日午後台湾人旅行者138人を乗せた初めての便が到着し、空港のロビーで観光関係者や自治体の職員が出迎えました。台中空港からの定期チャーター便の運航は九州では初めてで、12月25日まで毎週日曜と木曜に1日1往復します。マンダリン航空によりやすと、9月と10月の便はほぼ満席だということです。台湾からの旅行者は3泊4日から4泊5日の日程で九州各県の観光地を周遊するツアーに参加します。県内では別府市の海地獄や由布市の金鱗湖などが観光予定地としてリストアップされています。また、15日はマンダリン航空のパン社社長が広瀬知事を表敬訪問しました。この中で広瀬知事は「台中市との交流を深め定期便に格上げされるよう努力したい」と挨拶しました。県内を訪れた台湾からの宿泊客数は去年1年間におよそ7万5千人で年々増加傾向となっています。ただ、地震の影響で海外からの旅行者が減少していて、県は観光客を呼び戻す起爆剤として定期就航を働きかけていく方針です。

図12 OBS 大分放送 (2016.09.16)



圖 12 TOS テレビ大分(2016.09.16)



圖 13 大分日韓放送(2016.09.16)



圖 14 自由時報(2016.09.15)

資料來源: <http://news.ltn.com.tw/news/life/breakingnews/1827167>



圖 14 聯合新聞網(2016.09.15)

資料來源: <http://udn.com/news/story/7266/1963358>



(二) 照片



圖19 於清泉崗機場首航剪綵



圖20 於清泉崗機場行銷兩市觀光



圖21 首航航班花現台中彩繪機



圖22 機場迎賓合影



圖23 於大分機場日方迎賓



圖24 迎賓表演



圖25 大分縣太田副知事致歡迎詞



圖26 大分機場新增設空港足湯



圖27 拜會大分縣広瀬知事



圖28 致贈台中農產及藝品



圖29 大分縣政府員工熱情接送



圖30 利用地熱作物栽培



圖31 農業結合觀光



圖32 溫泉區也提供遊客享用農產品



圖33 溫泉區農產品自助蒸熟



圖34 利用溫泉培育熱帶魚



圖35 濱海自行車道



圖36 山間自行車道